

日本臨床検査専門医会

平成 18 年度第六回常任幹事会議事録

平成 1 8 年 1 2 月 1 5 日

## 平成 18 年度 第六回常任幹事会 議事録

開催日時：平成 18 年 12 月 15 日(金)、15 時～17 時

場 所：日本臨床検査医学会事務所

参加幹事：森三樹雄、水口國雄、石和久、メ谷直人、橋詰直孝、宮地勇人、  
佐藤尚武

参加監事：なし

欠 席：熊谷俊一、池田斉、玉井誠一、濱崎直孝（敬称略）

議事録署名人 橋詰直孝幹事、宮地勇人幹事

報告事項

### (1) 各種委員会報告

情報・出版委員会（石委員長）

前回の幹事会から変化はなく、各種出版物はほぼ予定通り出版されている。

- 日本衛生検査所協会発行の「ラボ」の連載について、来年以降も継続するよう依頼が来ている。（森会長）
- 私と佐藤幹事でこれからの内容を協議し、原稿を依頼する。（石委員長）
- JACLaP WIRE の編集主幹が満田先生から今福先生に変更になったが、配信が遅れており、引き継ぎうまくいっているかどうか心配である。（佐藤幹事）
- 今福先生に確認する。（石委員長）

教育研修委員会（宮地委員長）

議事録を資料提示の上、弘前で開催された教育研修委員会の議事について報告があった。主な内容は以下の通り。

幹事会での議論を紹介し、主に教育セミナーに関して討議を行った。セミナーの現状と問題点、次年度以降のセミナーの実施、セミナーの内容などについて議論した。また「臨床検査医学卒前卒後研修教育 WG」の活動について報告があった。

資格審査・会則改定委員会

（橋詰委員長の到着が遅れたため、佐藤幹事が代理報告）

前々回および前回の幹事会で会則第 6 章、第 24 条を改定し、弘前の総会で承認された。

渉外委員会（佐藤幹事）

来年 1 月ないし 2 月中に委員会を開催し、来年の振興会セミナーについて、内容を決定する予定である。

未来ビジョン検討委員会（メ谷委員長）

資料提示の上、次の通り説明があった。来年の春季大会において作業報告を行う。またそれに先だって委員会を開催する。

## 保険点数委員会（水口委員長）

臨床検査振興協議会の医療政策委員会に4つのサブグループができ、当会から以下の通り委員を出すことになった。

- a 臨床検査の価値：水口
- b 臨床検査の診療報酬：佐藤
- c 検査室のコスト：メ谷
- d 検査室の価値と役割：狩野

この委員会が厚生労働省と定期的に勉強会を開催し、臨床検査の診療報酬のあり方などについて検討していくことになる。また来年早々に委員会を開催する。

## (2) 会長選挙について（森会長）

来年は会長選挙の年なので、1月に選挙管理委員会を立ち上げ、委員長を決める。選挙は来年前半に実施する予定である。

## (3) 臨床検査ガイドライン・ハンドブックについて（佐藤幹事）

事務所に保管されていたハンドブックは以下の通り処理した。

臨床検査振興協議会から多数の問い合わせや要望があるので、残部があれば利用させて欲しいとの依頼があった。そこで40部程度を当会で使用し、残りは振興協議会に送った。

## (4) 平成19年度の行事予定について（佐藤幹事）

平成19年度の行事予定を資料の通り作成した。前回の幹事会で提示したものから、第1回幹事会が1月26日に変更になった。

- 1月19日は臨床病理同学院の会議と重なるため、26日に変更した。  
（森会長）
- 第68回教育セミナーは、受講者の便宜を図るため、4月28日から5月13日に移動させ、GLM教育セミナーと連続して受講できるようにして欲しい。（宮地幹事）
- そのように変更する。（佐藤幹事）

## (5) その他（佐藤幹事）

弘前での総会および講演会について報告を行った。講演会では非常に活発な質疑および討議が行われ、有意義な内容であった。

## 審議事項

### (1) 教育セミナーについて（宮地幹事）

教育研修委員会（弘前）の議事（報告事項(1)参照）および日本臨床検査医学会 教育委員会（弘前）の議事をふまえ、今後の教育セミナーのあり方について提案と審議の依頼があった。資料として日本臨床検査医学会教育委員会の議事録が提示された。

これに対して各参加者から多数の意見表明があり、活発な議論が行われた。

その結果以下のような方向性が示された。

- 内容を認定試験対策的なものから、専門医の生涯教育を中心とするよう移行させる。
- 認定試験のガイダンス的なセミナーも残すが、実習を減らし、担当校の負担軽減を図る。
- 視覚教材などの充実化を図り、認定試験のための自己学習を図れるようにする。
- 生涯教育的内容の教育セミナー受講を専門医資格の更新要件とするよう働きかける。具体的には5年間で1回の受講を義務付けるよう臨床検査専門医・管理医審議会に提案する。

## (2) 会費滞納者の取扱いについて（佐藤幹事）

前回の幹事会で、2年連続会費滞納者に対しては、専門医会が実施しているサービスの提供を中止することが決まった。については事務上の問題があるので、どこまでのサービスを停止するか審議をお願いしたい。

- LabCP、JACLaP NEWS、JACLaP WIRE の郵送、配信を停止すると云うことでよいのではないか。（森会長）
- サービスの停止に関してはその通りでよいが、滞納会員に対してはその旨を通知すべきではないか。（宮地幹事）
- 会費の督促は今年度については3回実施した。滞納者の扱いについては会則に記載があるので、通知する必要はない。（森会長）
- 通知することにより、一部の会員からは会費を納入してもらえる可能性がある。（宮地幹事）
- 年明けにでも通知を出すことにする。（佐藤幹事）

前回の幹事会で、会費をコンビニエンスストアで払えるようにすると便利であるとの提案があった。事務局員に調べてもらったところ、コンビニエンスストアで払えるようにするためには初年度20万円強の負担が生じるとのことであった。この件に関しても審議をお願いしたい。

- 前回提案したのは自分だが、これだけの負担が必要なら止めた方がよい。（メ谷幹事）
- インターネットバンキングの利用を考えてはどうか。（森会長、石幹事、メ谷幹事）
- コンビニ支払いを採用しない。インターネットバンキングについては利用する方向で調査をする。（佐藤幹事）

## (3) セミナー等における謝礼について（佐藤幹事）

前々回の幹事会にてセミナー等における現行の謝礼額は、適切ではないとの指摘があった。謝礼の改正案を資料として提示するので、審議をお願いしたい。

審議の結果、以下のように決定した。

挨拶、視察に対しては交通費（2,000円）のみ支給。事務局からの手伝

いに対しては、(拘束時間+1)×時給+交通費(2,000円)を支給。セミナーのインストラクターや補助者に対しては現行通り。合わせて同じく前々回の幹事会にて決定したセミナー参加費の事前払い込みに関し、キャンセル時の扱いについて議論があり、以下のように決定した。

一度払い込みされた参加費は、参加をキャンセルした場合でも返却しない。ただし次年度のセミナー参加費に回すことができる。

(4) その他：

要覧は現在毎年発行しているが、2年に1回でよいのではないか。(佐藤幹事)

- 所属の変更などは頻繁にあり、毎年発行した方が良い。(森会長、水口副会長)
- 毎年発行しても、間違いはたくさんある。他の学会の名簿発行状況をみても2年に1回でよい。日本臨床検査医学会の名簿と交互に出してはどうか。(宮地幹事)
- 訂正部分のみ号外で発行しても良い。(森会長)
- 要覧発行後に毎回大量の訂正依頼が来る。訂正分を JACLaP NEWS 発送時に添付している。(佐藤幹事)
- 最新の名簿を専門医会のホームページに収蔵し、会員にパスワードを発行して閲覧できるようにしてはどうか。(森会長)
- 名簿をホームページで管理するシステムがあり、それを使用した場合自分のところのみ書き換え可能にすることもできるので、会員個々が自分の記載を随時訂正できる。(石幹事)
- 名簿を電子化する方向で検討する。(森会長、佐藤幹事)

以上

議事録署名人

平成19年 1月19日

橋詰直孝 印

平成19年 1月26日

宮地勇人 印